大会プログラム

11月30日（土曜日）							
会場	MOホール（3F）	A（1F）	B（2F）	C（2F）	D（2F）	E（2F）	1F ロビー
午前の部 I 9:30 – 11:00	セッション 1 ODA（1）	セッション 2 経済開発	セッション 3 災害（1）	セッション 4 教育開発（1）	セッション 5 （企画） 開発実践と「感情」		
午前の部 II 11:15 – 12:45	セッション 6 ODA（2）	セッション 7 （企画） 環境リスク管理と リーダー育成	セッション 8 人道支援と コミュニティ	セッション 9 教育開発（2）	セッション 10 社会開発（1）		11:00 – 13:30 ポスター セッション
12:45 – 13:30	昼食休憩						
午後の部 13:30 – 15:00	セッション 11 ODAと経済発展	セッション 12 （企画） JST・JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業「アフリカサヘル地域の持続可能な水・衛生システム開発」	セッション 13 （企画） 紛争影響国における効果的な地方行政強化・コミュニティ開発	セッション 14 教育開発（3）	セッション 15 International Development （English Session）		
15:15 – 16:30	総会（会場：MOホール　3F）						
16:45 – 18:15	パネル・ディスカッション 「アフリカの子どもたちの未来像：保健医療・教育分野の開発がもたらすもの」 （会場：MOホール　3F）						
18:30 – 20:00	懇親会（会場：カフェテリア匠）						

12月1日（日曜日）						
会場	MOホール（3F）	A（1F）	B（2F）	C（2F）	D（2F）	E（2F）
午前の部 I 9:30 – 11:00	セッション 16 （企画） ポストMDGs 新しい課題と開発	セッション 17 （ラウンドテーブル） 開発援助におけるインフラ整備プロジェクトの開発効果検証に関する社会実験の必要性と可能性	セッション 18 保健医療	セッション 19 （企画） 障害包摂的な開発のための取り組み	セッション 20 社会開発（2）	セッション 21 持続的な農村開発と女性支援
午前の部 II 11:15 – 12:45	セッション 22 （特別セッション） 韓国国際開発協力学会（KAIDEC） との共同セッション	セッション 23 開発とビジネス	セッション 24 災害（2）	セッション 25 障害と開発	セッション 26 （企画） 大学における開発教育とディシプリン	セッション 27 持続可能社会
12:45 – 13:30	昼食休憩					
14:00 – 16:00	国際開発学会　市民公開講座 「ボルネオへの恩返し – 北の動物園が、南の野生生物レスキューセンターを支援する理由 – 」 （会場：MOホール　3F）　13:30 開場					

11月30日(土曜日)　午前の部Ⅰ(時間:9:30 - 11:00)

セッション 1:ODA(1)　**会場:MOホール(3F)**

	座長:高橋基樹(神戸大学)	コメンテーター:小林誉明(横浜国立大学)
	題目	発表者
1	韓国におけるODA供与決定の要因に関する研究	朴成勲(早稲田大学大学院)
2	ハーパー保守党政権下のカナダのODA政策	高柳彰夫(フェリス女学院大学)
3	日本の国際教育援助(協力)政策の歴史的展開　ー戦後から今日までー	上別府隆男(東京女学館大学)
4	日本のODAの源流に関する歴史比較制度分析	下村恭民(法政大学)

セッション 2:経済開発　**会場:A(1F)**

	座長:大坪滋(名古屋大学)	コメンテーター:森晶寿(京都大学)
	題目	発表者
1	カスピ海周辺地域における石油及び天然ガスの輸出戦略と持続可能性　ーアゼルバイジャンのパイプライン・プロジェクトを事例としてー	安部雅人(東北大学大学院)
2	東南アジアにおける経済統合と越境開発　ータイ・ミャンマー国境におけるマキラドーラの形成に関する考察ー	喜田徹生(法政大学)、藤倉良(法政大学)
3	クロアチアのEU加盟　ー域内貿易および西バルカン諸国の国内諸制度改革への含意ー	渡辺松男(新潟県立大学)
4	地域間輸送費が都市失業に与える影響の理論的考察	竹内信行(神戸大学)

セッション 3:災害(1)　**会場:B(2F)**

	座長:重田康博(宇都宮大学)	コメンテーター:阪本真由美(人と防災未来センター)
	題目	発表者
1	JICA事業を通じた東日本大震災復興への貢献について　ー市民参加協力による内外一元化の可能性ー	永見光三(JICA)
2	東日本大震災における半島部被災地の復興を開発の視点から考える	秋吉恵(早稲田大学)
3	Independent Simple Floods Warning System for Developing Countries: A comparative case study between Nagaoka, Japan and Manila, the Philippines	Kiyoto Kurokawa(Ritsumeikan University)

セッション 4:教育開発(1)　**会場:C(2F)**

	座長:小川啓一(神戸大学)	コメンテーター:大塚麻代(大阪大学)
	題目	発表者
1	メキシコの学校中退における家庭的要因　ーNGOへの聞き取り調査からー	加藤由里子(お茶の水女子大学大学院)
2	Transition of Policy on Community-Based Schools in Pakistan from 2000 to 2009	Yasuko Ono(Nagasaki University)
3	モンゴル国ホブド県の小学校におけるICT活用の現状　ー学校長と教員の視点からー	小野寺純子(東京工業大学)、山口しのぶ(東京工業大学)
4	Mixed-Methods Impact Study of One Laptop Per Child Initiative : A Case of Khovd Province in Mongolia	Shinobu Yamaguchi(Tokyo Institute of Technology)、Junichi Takada(Tokyo Institute of Technology)、John Auxillos(Tokyo Institute of Technology)

セッション 5:(企画)開発実践と「感情」-リアリティをめぐる新たなアプローチの可能性-　**会場:D(2F)**

	座長:関根久雄(筑波大学)	コメンテーター:1. 杉田映理(東洋大学) 2. 高砂大(JICA)
	題目	発表者
1	怒りの「管理」　ーソロモン諸島における開発実践と感情ー	関根久雄(筑波大学)
2	共感と合理　ー南スラウェシ農村の灌漑管理における水追人マンドロ・ジェネの事例よりー	小國和子(日本福祉大学)
3	感情を耕す人々　ー日系ブラジル人専門家の暗黙知を読み解くー	佐藤峰(JICA研究所)

11月30日(土曜日)　　時間：11:00- 13:30

ポスターセッション　　会場：1F　ロビー

	題目	発表者
~~1~~	~~コミュニティー林業におけるリンケージの役割　-ネパールからの学び-~~	~~藤井昭剛ヴィルヘルム（東京大学大学院）、スンリティ・バンダリ（フォレストアクション・ネパール）~~
2	人々の認識の捉え方 -マラウイ北部農村における社会調査法の実施のためのデータ収集法の工夫-	谷島緑（北海道大学）
3	ミャンマーの農村地域における社会経済状況の実態　-現地調査結果を基に-	エイ　チャンプイン（熊本学園大学）
4	Development of Instrument to Measure ICT Skills of Primary School Teachers in Mongolia	Oyun Tsogtsaikhan（Graduate School, Tokyo Institute of Technology）、Shinobu Yamaguchi（Tokyo Institute of Technology）、Jun-Ichi Takada（Tokyo Institute of Technology）
5	シリア難民による学校運営と教員の役割　-トルコ共和国アンタキヤ市の事例から-	山本香（大阪大学大学院）
6	アフリカにおける中国のプレゼンス -西アフリカの孔子学院を中心に-	尹曼琳（金沢大学大学院）
7	ケニアにおけるマサイ小学校生徒の学習動機	野村理絵（大阪大学大学院）
8	ケニア小学校教師の教育観の形成過程　-日常生活の観察を通して-	佐久間茜（大阪大学大学院）
9	産業集積におけるODAの役割 -タイ東部臨海工業地帯の事例-	鈴木沙織（東京大学大学院）、山口健介（東京大学）
10	中国四川大地震による中国の社会変容に関する考察　-2008年汶川地震と2013年雅安地震-	大谷順子（大阪大学）、張玉梅（大阪大学大学院）

11月30日(土曜日)　午前の部 II (時間:11:15 - 12:45)

セッション 6: ODA(2)　**会場:MOホール(3F)**

	座長:下村恭民(法政大学)	コメンテーター:北野尚宏(JICA研究所)
	題目	発表者
1	環境ODAと気候変動資金メカニズム -実績・課題・新たなアプローチ	森晶寿(京都大学)
2	Aid is Good for the Poor: Development Aid in a Globalized World	Yumeka Hirano(Graduate School, Nagoya University)、Shigeru Otsubo(Nagoya University)
3	我が国政府開発援助(ODA)への民間軍事会社(PMSC)活用の可能性	小野圭司(防衛省防衛研究所)
4	援助政策をラディカルに考え直す	平野克己(アジア経済研究所)

セッション 7:(企画)環境リスク管理とリーダー育成　**会場:A(1F)**

	座長:吉浦伸二(横浜国立大学)	コメンテーター:佐藤仁(東京大学)
	題目	発表者
1	リスク管理と持続可能な自然資源利用に向けた統合的環境社会的能力評価	小林正典(横浜国立大学)
2	アジアにおける生態系荒廃と食・健康リスク	嘉田良平(総合地球環境学研究所)
3	Environmental Risks and their Impacts on Food and Health Security in Laguna Lake Watersheds, Philippines	Roberto F. Rañola, Jr(University of the Philippines Los Baños)
4	統合的生態系管理としての里山保全とその多面的機能	小池治(横浜国立大学)

セッション 8:人道支援とコミュニティ　**会場:B(2F)**

	座長:鈴木紀(国立民族学博物館)	コメンテーター:斎藤文彦(龍谷大学)
	題目	発表者
~~1~~	~~紛争後社会における住民主体の資源管理 -東ティモールにおける慣習法「タラ・バンドゥ」-~~	~~宮澤尚里(東京大学)~~
2	大規模災害における国際支援受入調整システムに関する研究　ーインド洋津波災害におけるアチェの事例よりー	阪本真由美(人と防災未来センター)
3	われわれの物語を創るために　ーコミュニティ開発におけるチェンジエージェントー	柴田英知(歩く仲間)

セッション 9:教育開発(2)　**会場:C(2F)**

	座長:黒田一雄(早稲田大学)	コメンテーター:日下部達哉(広島大学)
	題目	発表者
1	家庭背景が学業成績に関する原因帰属と自己効力感に与える影響ーケニア・エルドレッド市を事例にー	子浦恵(お茶の水女子大学大学院)
2	世帯背景から見る中等学校進学機会　ーケニアのキベラに暮らす子どもたちを追跡してー	大塲麻代(大阪大学)
3	途上国教師の持つ授業文化に関する研究　ー国際比較に向けた枠組みの検討ー	中村聡(広島大学)、前田美子(大阪女学院大学)
4	マラウイにおける中等学校教師の社会的地位の変遷とその意味づけ　ーライフストーリー手法を用いた分析ー	日下部光(大阪大学大学院)

セッション 10:社会開発(1)　**会場:D(2F)**

	座長:磯田厚子(女子栄養大学)	コメンテーター:平山恵(明治学院大学)
	題目	発表者
1	内モンゴル自治区における乳製品の高付加価値化の可能性　ーホルチンマンハン地域の牛乳購入意識調査の結果をもとにー	白玉香(横浜国立大学大学院)、藤巻碧海(横浜国立大学大学院)、秋庭はるみ(横浜国立大学)、太田海香(横浜国立大学大学院)、石橋健一(名古屋産業大学)、松田裕之(横浜国立大学)
2	ミャンマー　寺子屋(僧院学校)における学童期から青年期の昼食摂取状況と体格、貧血の関連	荒木未希子(帝京大学)
3	ネリカ普及における受益者は誰か？　ー中央ベナン・ソエ村の事例からー	横内智則(東京大学大学院)
4	Impact of Environmental Degradation on Food Consumption Patterns in Laguna Lake Watershed, Philippines	Wuyun Gong(Graduate School, Yokohama National University)、Ryohei Kada(Yokohama National University)

11月30日(土曜日)　午後の部（時間：13:30 – 15:00）

セッション 11：ODAと経済発展　**会場：MOホール（3F）**

	座長：平野克己（アジア経済研究所）	コメンテーター：松本悟（法政大学）
	題目	発表者
1	タンザニアにおける開発援助の構造化と再生産	藍澤淑雄（秋田大学）
2	日伯連携による三角協力の現実　ープロサバンナを事例としてー	舩田クラーセンさやか（東京外国語大学）
3	援助モデルの選択要因　ーDACモデル VS 南南協力モデルー	小林誉明（横浜国立大学）
4	機能的所得分配の変化とその要因　ーインドネシア農業と製造業における労働分配率の分析ー	本台進（神戸大学）

セッション 12：（企画）JST・JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業「アフリカサヘル地域の持続可能な水・衛生システム開発」-工学的見地からの水と衛生事情の分析と社会科学による開発モデルの提示-　**会場：A（1F）**

	座長：鍋島孝子（北海道大学）	コメンテーター：田中樹(総合地球環境学研究所)
	題目	発表者
1	資源循環型サニテーションシステムの導入戦略　ービジネスモデル構築というアプローチー	牛島健（北海道大学）、船水尚行（北海道大学）
2	ブルキナファソにおける主婦層対象のマイクロクレジット	箱山富美子（明治学院大学）
3	アフリカの伝統的農民を開発アクターとして認める　ーポスト・モダンの社会と国家、参加型民主主義の模索ー	鍋島孝子（北海道大学）

セッション 13：（企画）紛争影響国における効果的な地方行政強化・コミュニティ開発　**会場：B（2F）**

	座長：小池治（横浜国立大学）	コメンテーター：峯陽一（同志社大学）
	題目	発表者
1	紛争影響国における公共サービスの提供のための政府の機能強化	小向絵理（JICA）
2	紛争影響地域における参加型開発の実践	小池治（横浜国立大学）、島田具子（JICA）
3	プロジェクト研究　紛争影響国における地方行政強化・コミュニティ開発の教訓 -中間報告-	平林淳利（株式会社HIRA）
4	コミュニティ開発を通じた地方行政強化のアプローチ　-UNDPとJICAの比較-	畝伊智朗（JICA）

セッション 14：教育開発（3）　**会場：C（2F）**

	座長：吉田和浩（広島大学）	コメンテーター：山口しのぶ（東京工業大学）
	題目	発表者
1	EFA/MDGsに基づく教育開発戦略および教育プロジェクトの妥当性に関する考察　-中米ホンジュラス共和国における小学校児童の縦断的調査から-	芦田明美（神戸大学大学院）
2	ODAにおける国際教育技術協力の「持続性」-目的・持続性指向のプロジェクト設計の必要性-	田中紳一郎（JICA）
3	農村における質の高い教育を持続的に提供するための手法の模索 -コロンビアのエスクエラヌエバとグラミンカルダスを事例として-	鈴木隆子（九州大学）
4	高等教育における国際開発・協力の潮流と課題　ー日本は何ができるのか？ー	米澤彰純（名古屋大学）

セッション 15：International Development (English Session)　**会場（Room）：D（2F）**

	座長：Jiban Majumder（駐日バングラデシュ大使館）	コメンテーター：Calvin de los Reyes（大阪大学）
	題目(TITLE)	発表者(PRESENTER)
1	Pro-Poor Institutions for Development Effectiveness: Cross-Country Empirical Analyses and a Case Study of Ethiopia	Yumeka Hirano（Graduate School, Nagoya University）、Shigeru Otsubo（Nagoya University）
2	Promoting Agroindustry-led Development under Globalization: Simulations with a CGE model for the Democratic Republic of Congo	Christian S.E. Otchia（Graduate School, Nagoya University）
~~3~~	~~Reconsidering Trade and Poverty Nexus in Thailand~~	~~Panisa Vishuphong（Nagoya University）~~
4	Spatial Dimension of Innovation in Developing Countries: The State of Innovation in the 17 Regions of the Philippines	Arianne Dela Rosa Dumayas（Graduate School, Chuo University ）

12月1日(日曜日)　午前の部Ⅰ(時間:9:30 - 11:00)

セッション 16:(企画)ポストMDGs　新しい課題と開発　-環境・災害・障害-　**会場:MOホール(3F)**

	座長:仲佐保(国立国際医療研究センター)	コメンテーター:大橋正明(恵泉女学園大学)
	題目	発表者
1	ポストMDGsの新しいプロセス	南博(外務省)
2	環境と開発	古沢広祐(NPO「環境・持続社会」研究センター)
3	災害と開発	永石雅史(JICA)
4	Disabilities and Development	Kamal Lamichhane(JICA Research Institute)

セッション 17:(ラウンドテーブル)開発援助におけるインフラ整備プロジェクトの開発効果検証に関する社会実験の必要性と可能性　**会場:A(1F)**

	座長:西宮宜昭(JICA)	コメンテーター:1. 佐藤寛(アジア経済研究所)、2. 花岡伸也(東京工業大学)、3. 藤原章正(広島大学)

セッション 18:保健医療　**会場:B(2F)**

	座長:青山温子(名古屋大学)	コメンテーター:大谷順子(大阪大学)
	題目	発表者
1	人口・リプロダクティブヘルス分野の国際的潮流と日本のODA	北林春美(お茶の水女子大学)、青山温子(名古屋大学)、江啓発(名古屋大学)、喜多悦子(笹川記念保健協力財団)
2	ベトナムにおける公的医療保険の拡大とその影響　ー適切な制度設計にむけてー	島村靖治(神戸大学)
3	カンボジア村落部における雨水使用の現状と対策に関する研究　ー地下水ヒ素汚染地域を中心としてー	眞子岳(東洋大学)
4	インド農村部における母親の飲料水煮沸行動の要因	佐藤壮夫(東京大学大学院)、山路永司(東京大学)

セッション 19:(企画)障害包摂的な開発のための取り組み　-障害と開発の観点から-　**会場:C(2F)**

	座長:森壮也(アジア経済研究所)	コメンテーター:1. 穂坂光彦(日本福祉大学) 2. 川口純(JICA研究所)
	題目	発表者
1	CBRの到達点としてのCBRガイドラインの概要と日本の国際活動における使用の検討	上野悦子(日本障害者リハビリテーション協会)
2	JICAにおける障害者研修と文化人類学的フィールドワークのコラボレーション　ーコートジボワールにおけるろう者・手話言語研究の振興ー	亀井伸孝(愛知県立大学)
3	途上国における障害者の権利条約実現の可能性　ータイ、フィリピン、マレーシアの障害者運動の視点からー	千葉寿夫(首都大学東京大学院)
4	フィリピンの障害児教育法の現状と問題点　ー障害当事者が直面する諸問題ー	森壮也(アジア経済研究所)

セッション 20:社会開発(2)　**会場:D(2F)**

	座長:林薫(文教大学)	コメンテーター:斎藤千宏(日本福祉大学)
	題目	発表者
1	国際移動をしたスター研究者と出身途上国との繋がり　ー出身国と国際共同研究をする誘因を中心としてー	加藤真紀(横浜国立大学)
2	フェアトレードタウンを通じた持続可能な都市形成の可能性　ーフェアトレードタウン形成に必要な要素の検討ー	渡耒絢(川崎市環境総合研究所)
3	サモア独立国における社会生活基盤の維持　ー伝統儀礼の実践からー	飯森文平(東京農業大学)
4	国境を超えて共振する社会運動　ー世界社会フォーラムは、「オルタ・グローバリゼーション運動」と「怒りの連鎖」運動の結節点になるのかー	毛利聡子(明星大学)

セッション 21:持続的な農村開発と女性支援　**会場:E(2F)**

	座長:鈴木直喜(清泉女子大学)	コメンテーター:荒木美奈子(お茶の水女子大学)
	題目	発表者
1	「内発的発展」と「自立」の再考ーマラウィ小農村落の内発的発展を目指した外的援助の取り組みの事例	三須裕子(ロンドン大学大学院)
2	ネパールにおける女性自助組織とエンパワーメント　ー女性組織活動に焦点を当ててー	佐藤希(神戸大学大学院)
3	生業多様化の議論の再検討　ーエチオピア農村部の若い女性の事例からー	児玉由佳(アジア経済研究所)
4	地方分権化下のタンザニアにおける県農業開発計画の現状と課題ームビンガ県の事例ー	黒崎龍悟(福岡教育大学)

12月1日(日曜日)　午前の部 II (時間:11:15 – 12:45)

セッション 22:(特別セッション)韓国国際開発協力学会(KAIDEC)との共同セッション (KAIDEC-JASID joint session)　**会場(Room):MOホール(3F)**

	Moderator: ShokoYAMADA (Nagoya University)	
	題目 (TITLE)	発表者 (PRESENTER)
1	A Study on Development Education in Korea: Its limitations and Potentials	Sang-Hyup Shin (KAIDEC)
2	JICA's Cooperation in Education toward Post-2015 – Partnership between Academics and Practitioners –	Shinichi Ishihara (JICA)
3	Korea's ODA to Higher Education through Scholarship Programs: Collaboration, Conflict and Contribution	Eun Mee Lim(KAIDEC)
4	Collaboration between Japanese Academics and Practitioners in International Educational Development: Continuous Efforts and Their Contributions	Yuto Kitamura (The University of Tokyo)
5	Collaboration between the Academic and NGOs in International Development: Impact on South Korean Aid Policy from 1995 to 2007	Moon Kyungyon (KAIDEC)

セッション 23:開発とビジネス　**会場:A(1F)**

	座長:加藤宏(JICA研究所)	コメンテーター:吉田秀美(法政大学)
	題目	発表者
1	マイクロファイナンス活動における「Vittukkooduthal」の意義　ーインド、Tamil Nadu州農村におけるSelf Help Groupの事例研究ー	島田めぐみ(東京大学大学院)
2	マイクロファイナンスの農村社会構造に対する副次的影響　-バングラデシュ農村におけるサービスの「深化」と社会保障ネットワークを巡って-	西村直紀(JICA)
3	カンボジアのストリート・ビジネス	廣畑伸雄(山口大学)
4	合弁企業によるソーシャル・ビジネスの有効性の分析　-バングラデシュにおけるグラミン・雪国まいたけを事例として-	大杉卓三(九州大学)、アシル アハメッド(九州大学)

セッション 24:災害(2)　**会場:B(2F)**

	座長:喜多悦子(笹川記念保健協力財団)	コメンテーター:桑名恵(立命館大学)
	題目	発表者
1	モンゴルの自然災害への牧畜民のレジリエンス向上に関する分析ー2009年から2010年のドンドゴビ県で発生した"ゾド"の事例からー	中村洋(法政大学大学院／地球・人間環境フォーラム)
2	Toward reducing cyclone vulnerability and promoting resilience in Bangladesh	Akira Murata(JICA Research Institute)
3	複雑化する国際環境とわが国の国際人道救援の変遷	喜多悦子(笹川記念保健協力財団)、青山温子(名古屋大学)、北林春美(JICA)、柳沢香枝(JICA)

セッション25:障害と開発　**会場:C(2F)**

	座長:穂坂光彦(日本福祉大学)	コメンテーター:山形辰史(アジア経済研究所)
	題目	発表者
1	JICAボランティア事業における"障害と開発"のメインストリーミング	荒柾文(JICA)、渡邊雅行(JICA)、土橋喜人(JICA)
2	障害と教育の収益率　ーベトナムのデータを用いた実証分析ー	山崎泉(和歌山大学)、水野谷優(香港中文大学)、ソフィー・ミトラ(フォーダム大学)
3	スポーツを通しての開発とアスリート保護　-イギリスのチャイルド・プロテクション制度を事例として-	山田理恵(鹿屋体育大学)

セッション 26:(企画)大学における開発教育とディシプリン　**会場:D(2F)**

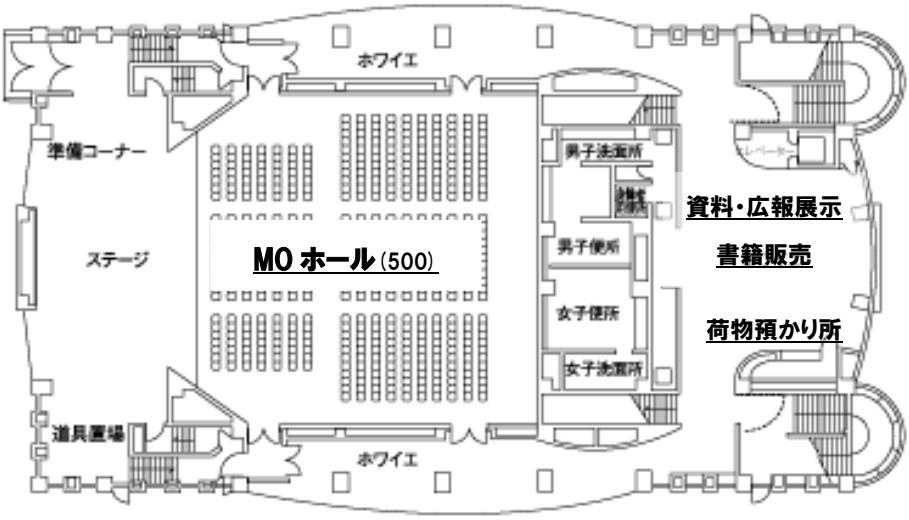
	座長:浜本篤史(名古屋市立大学)	コメンテーター:佐藤寛(アジア経済研究所)
	題目	発表者
1	開発教育手法の社会学専門教育との接合　ーその効果と課題ー	佐野麻由子(福岡県立大学)
2	多元性の中での開発教育・社会学教育のゆくえ　ー大学教育におけるグループディスカッション手法の経験からー	宮内泰介(北海道大学)
3	ボランティア実践をともなう開発教育の特徴　ー早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンターの事例ー	岩井雪乃(早稲田大学)
4	日本の大学教育におけるフィールドワークの可能性ー銀行型教育の「知」、対話からの「理解」を超えてー	鈴木直喜(清泉女子大学)

セッション 27:持続可能社会　**会場:E(2F)**

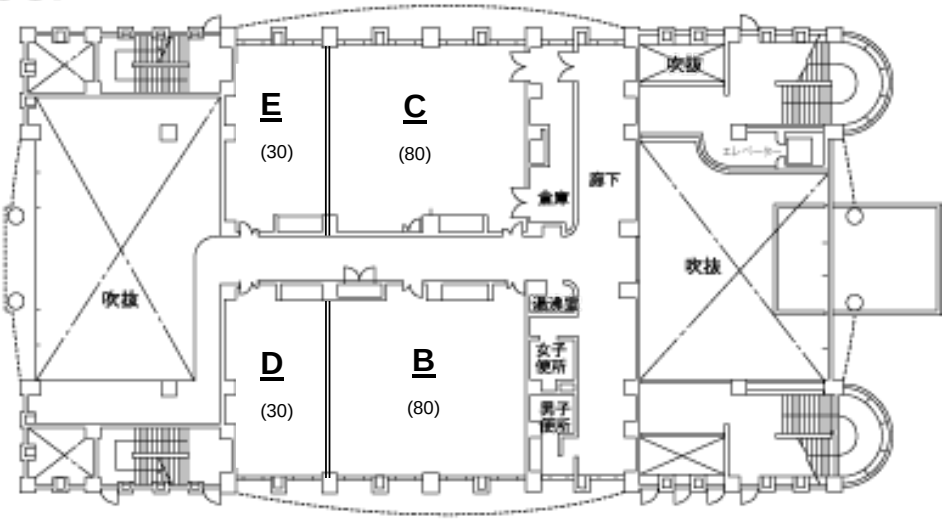
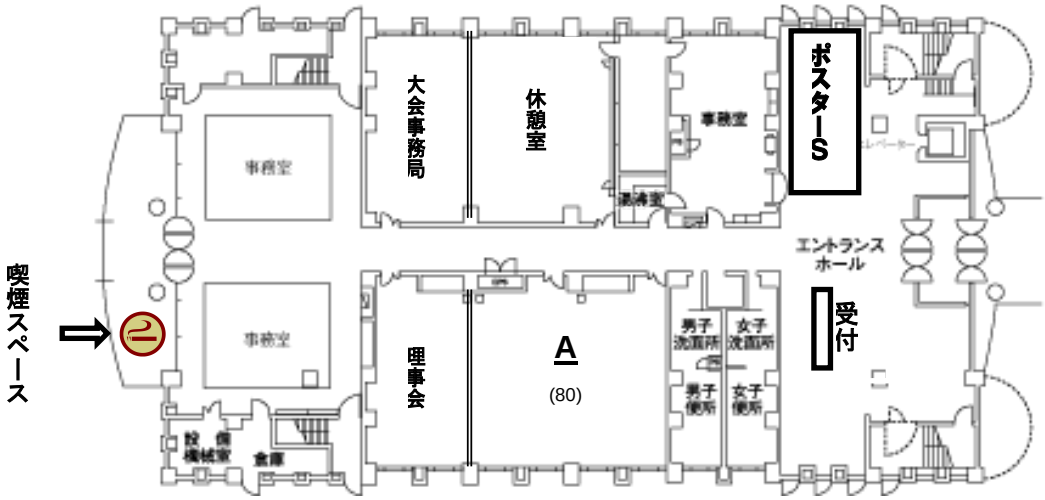
	座長:金子慎治(広島大学)	コメンテーター:真崎克彦(甲南大学)
	題目	発表者
1	アフリカのアスファルト道路の物理的試験「公的お墨付き」を考察する　ーウガンダのケースー	浅野英一(摂南大学)
2	インドネシアにおける貧困指標と電気料金	宇田川拓雄(北海道教育大学函館校)
3	途上国の再生可能エネルギー促進におけるドナーの役割:ベトナムの事例より	清水規子(地球環境戦略研究機関)、森田香菜子(慶應義塾大学)、千葉洋平(地球環境戦略研究機関)
4	JICA低炭素都市研修を実施して　ー北九州市の低炭素化施策の研修教材化とその途上国諸都市への発信ー	前田利蔵(地球環境戦略研究機関)

会場案内図（大阪大学 コンベンションセンター）

3 floor 【飲食厳禁】



2 floor 【飲食厳禁】



1 floor